山形県立酒田中学校・酒田東高等学校東京亀城会会報　★題字・高橋大乗(21回卒)／題字の色はスクールカラー

東京亀城会々報

第19号
発行
平成11年6月10日

最上の流れにうるほふ里の
学び舎みどりの希望はみちて
明るしや　清けしや
我らの園　我らの門
あしたに夕べに集ふ
手を引き助けて円かに睦みて
愛あり仁ある人とならん

ああ見よ鳥海七千餘尺
虚空に聳ゆる巨人の姿
黙示に学びてわれらの健児
六百並んで高きに向ふ

平成11年度
総会案内

集おう、新世紀に向けて

七月十日の総会では、会則改定を提案、若い世代の参画も支援

平成十一年度の東京亀城会総会は七月十日（土）に品川区五反田の「ゆうぽうと」で開催されます。

昨年度総会で就任された佐久間正会長のもとに進めてきた会務の報告と議案の提案、今後の運営について方針が述べられます。

◇会則の改定を提案

今総会で会則の改定案が提案されます。

近年、会員数も増え、予算規模も大きくなりましたので、より円滑な会の運営に供する様に、会長が起案した案を理事会で検討し、改定案として提案するものです。

◇具体的な事業計画と予算

今期は事業計画と予算の計上に時間をかけて検討してきました。

事業計画と予算案については、総会で報告されますが、今後は予算制度を定着させ、理事全員で予算管理を行い、時機を得た、実のある事業を展開しなければなりません。

平成十年度総会

◇若い世代の参画のために

若い世代の参画は近年とくに強調されている課題であります。東京亀城会構成組織を育てる目的で若手の同期会発足を応援していきます。

「親睦」だけでは若い世代は評価しません。内容のある楽しく、タメになる東京亀城会の発展のため努力して参ります。

第19号目次

平成11年度総会案内◇1
東京亀城会
平成10年度活動報告◇2
十九号発行のご挨拶／
東京亀城会会計・予算報告◇3
母校の現状報告◇4
亀城会だより◇6
同期会・昨日今日◇8
先生元気だが◇12
ＯＢを訪ねて◇13
ふるさと発◇14
同窓だより◇18
亀城人往来◇20
東京亀城会会則・改定案◇22
総会・懇親会案内◇24

東京亀城会メールアドレス：kijou@plum.ocn.me.jp

東京亀城会平成十年度活動報告

◎総会・懇親会

平成十年度東京亀城会総会・懇親会は平成十年七月十九日（日）午後一時より、東京厚生年金会館ロイヤルホールで開催されました。今回は、従来の平日午後六時開催を日曜午後一時にしてより多くの方に参加して頂けるように配慮しました。

参加者は会員一三六名(内女性二一名)、来賓二〇名の参加となりました。来賓は亀城同窓会会長・小松久雄様、母校校長・知野広様、恒例となった母校恩師・相蘇敏夫様・五十嵐千秋様をはじめ各友好同窓会幹部の方多数。

総会は、佐藤郁雄（二三回卒）実行委員長の挨拶に始まり、後藤健（二三回卒）実行委員の司会により、会務報告・会計報告・会計監査報告・平成十一年度予算案報告が行われ、いずれも異議なく承認されました。

また、役員改選も昨年の会報掲載の役員案通りに満場一致で承認されました。懇親会は阿部尚記（三三回卒）・相川俊明（三三回卒）実行委員の司会のもと、歌手の西山ひとみさんの「庄内平野」他の披露、カラオケ大会等が開催され盛会。最後に次回総会の当番幹事の二四回・三四回・四四回への引継ぎを確認し、校歌を大合唱し、閉会しました。

◎各地区亀城同窓会合同会議

第二回合同会議が平成十年十一月十四日に酒田ホテルリッチ会議室で開かれました。当会からは佐久間正会長、渉外担当理事・丸藤晋、会報担当理事・高橋常昭が参加し、山形・遊佐・八幡・松山・平田の各同窓会代表及び亀城同窓会会長・母校校内幹事が参加しました。

会議では、各地区の現状報告が行われ活発な意見交換が行われました。今後の各地区同志の交流に役立つことが期待されます。

◎平成十年度総会以降の東京亀城会会議日程

（平成十年総会までの会議日程は、会報第十八号に掲載済み）

・執行部会（平成十年九月十二日、十一月七日、十一年三月六日）
・東京亀城会発展のためのご意見を伺う会（十年十一月二八日）
・役員賀詞交歓会（十一年一月二三日）
・会計監査（十一年四月六日）
・拡大役員会（十一年四月十七日）

◎総会開催にあたり次の方々より物品・観光ポスター・観光パンフレットを寄贈頂きました。ご協力ありがとうございました。

（順不同、敬称略）

有限会社小松屋、東北銘醸株式会社（初孫）、菊勇株式会社、酒田酒造株式会社（上喜元）、麓井酒造株式会社、酒田市観光物産課、遊佐町役場商工観光課、平田

この夏27年目、私たちは1の笑顔を忘れない。

5,782
<平成11年6月末迄の建築販売戸数>

いい家は、人の熱意で生まれる。
一戸一戸に真剣勝負！

木の香り・すずらん苑が誕生してから27年。
手がけてきた建築販売戸数5,782棟を超えました。
その一戸一戸のご家族の笑顔は未だに鮮明に残っています。出逢いからご入居後の後々まで親戚づきあいをしてきたのですから忘れるはずはありません。
私たちは、そのお客さま一人一人に支えられ教えられ、信頼されての積み重ねでした。
これからもこの情熱を忘れずに一戸一戸に社員一同真剣勝負していきたいと思います。

☆文化放送のCMでおなじみの
木の香りすずらん苑
本格木造分譲住宅
自由設計の家
●都知事免許(9)第22708号／建設業登録(般8)61085号
●住まいのコンダクター
設計施行 株式会社 鈴建工務店
■本　社／東京都板橋区弥生町28-10　TEL03(3974)2805(代)
■池袋支店／東京都豊島区南池袋2-27-3　TEL03(5992)2771(代)
■大宮支店／埼玉県大宮市吉敷町4-38-2　すずらん館ビル　TEL048(642)1731(代)

代表取締役　鈴木藤男（昭和31年卒業）　同窓の方、県人の方が住宅建築及びご購入の際には特に優遇させていただきます。

町役場企画課、立川町役場企画課、八幡町役場産業振興課、松山町役場企画課

◎東京亀城会平成十一年度事業計画

一、平成十一年度総会・懇親会
二、会員による講演会
三、未結成東京亀城同期会開催支援
四、親睦ゴルフコンペ

（記・渉外担当理事　丸藤晋　四六回）

十九号発行のご挨拶
「だんご三兄弟」

東京亀城会会長
佐久間　正
（22回）

「だんご三兄弟」という歌が、子供やお母さんたちに爆発的人気をよんでいます。

私の内孫は三人ですが、みんな男の子で、まさにダンゴ三兄弟です。喧嘩もしますが、すぐに仲直りし、仔犬のようにふさげあっています。

同窓会は兄弟みたいなものです。六〇～七〇歳代が長男に当りましょうか。総会・親睦会に顔を見せる方が多いようです。四〇後半～五〇歳代が次男で、会の実務はこの年代が担っています。それより若い方は三男といえましょう（女性の方は長・次・三女と読みかえて下さい）。

私は、昨年の総会で、皆様方から東京亀城会の会長に選任されました。それ以来、如何にしたら当会を発展させることができるだろうか、どうしたら三男（女）の若い皆さんが会に関心をもってくれるだろうか、ということが頭から離れません。

しかし、奇想天外な方策はないでしょう。理事の方々のご意見も承り、今年度は次のようなことを考えています。

◇

① 同窓会の核となるものは、各年次ごとのクラス会だと思います。ところが三男（女）にはクラス会がない年次が多いようです。

そこで、この層に積極的に働きかけて、クラス会をつくってもらいます。年度目標は五つです。

② 秋に、講演会を計画しています。懇親の場のひとつです。将来は、小音楽会や芋煮会もやってみたいですね。

③ 会員が当会に何を望むかのアンケート調査を行います。

◇

その外、いろいろな施策が考えられますね。ご提案下さい。

三兄弟（姉妹）の力を結集し、東京亀城会を大いに発展させましょう。

皆様のご協力をお願いします。

東京亀城会会計・予算報告

一、平成十年度一般会計報告
（平成十年四月一日～平成十一年三月三十一日）

収入の部	1	前年度繰越金	2,213,753
	2	年会費	1,918,000
	3	総会会費	1,030,000
	4	寄付	220,000
	5	雑収入	2,591
	6	特別会計（会報収益金）	432,222
		合計	5,816,566
支出の部	1	会議費	329,555
	2	総会費	1,628,353
	3	事業費	52,000
	4	通信費	529,280
	5	印刷費	98,385
	6	事務費	305,439
	7	旅費交通費	74,040
	8	払込料	63,492
	9	諸口	204,913
	10	雑費	56,825
		小計	3,342,282
		次年度繰越金	2,474,284
		合計	5,816,566

二、平成十一年度一般会計予算
（平成十一年四月一日～平成十二年三月三十一日）

収入の部	1	前年度繰越金	2,474,284
	2	年会費	2,000,000
	3	総会会費	1,140,000
	4	寄付	200,000
	5	雑収入	2,500
	6	特別会計（会報収益金）	415,600
		合計	6,232,384
支出の部	1	会議費	279,000
	2	総会費	1,600,000
	3	事業費	330,000
	4	通信費	478,630
	5	印刷費	175,000
	6	事務費	480,000
	7	旅費交通費	140,000
	8	払込料	70,000
	9	諸口	220,000
	10	雑費	50,000
	11	予備費	100,000
		小計	3,922,630
		次年度繰越金	2,309,754
		合計	6,232,384

母校の現状報告

気概ある人間に

校　長
知野　弘

日ごろより母校教育の発展のためご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今春の卒業生は、国公立大への現役合格が一二九名、うち東北大に十一名などで、なんとか進学校の面目を保ったという感じです。今後の課題は、東大等の難関校にチャレンジする生徒の育成です。

部活の方は、昨年秋の新人戦の結果が良かったところから、今年はかなりの活躍が期待できそうです。多くの生徒を全国大会に送り出したいと思います。

近年の風潮としては、あまり無理をせず、勉強や部活をそこそこに行い、入れる大学に進めば幸いという考え方があります。これに対して私どもは、個性的かつ識見豊かで、気概ある人間を育てたいと、強く念願しているところです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

◎

酒田東高校の現況

教頭　**山岸文章**

昨年度途中で病気入院し、今年の二月に急逝されました冨澤前教頭の後任として、今年の一月一日より着任しました。

職務半ばで永眠されました前教頭のご冥福をお祈り申し上げます。

この度、はからずも後任として任命され、肩の荷の重さを痛感しているところでございます。平成五年四月より、母校の体育教師として赴任し、生徒部長・教務部長またバレーボール部の顧問として各方面からいろいろ御指導を頂いて参りました。今後も微力ながら母校の発展のため、精一杯努める所存でおりますので、何卒ご指導ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、本校も平成十二年には創立八〇周年を迎えるわけですが、現在それに向けての資金計画・事業計画を進めているところです。昨年の七八周年記念講演には、前「しらせ」艦長の久松武宏氏（第三六回卒業）をお招きし貴重なお話を伺うことができました。

今春の進学状況は、掲載のとおり国立大学現役合格者数は例年通りでしたが、難関大学合格者数となると物足りなさが残ります。今後、本校推進課題の一つとして、難関大学の意欲喚起とトップ層の育成を掲げ、本校の地域社会における使命達成と生徒の志望実現を目指し、教職員一同努力していく所存です。

また、伝統行事である球技大会・文化祭・運動会・柔道大会等も生徒諸君の創意工夫が生かされ益々活気にあふれる行事になっております。部活動の活性化も合わせて、「文武両道」と「知・情・意・力」の下で、バランスのとれた、視野の広い、精神的にたくましい生徒の育成に努めてまいりたいと思います。

◎

酒東の精神は今でも健在！
―運動部の活躍―

生徒部長　**加藤　伸**

酒東の「文武両道」の精神を受け継ぎながら、在校生は各種大会で、優秀な結果をあげていますが、昨年の県新人戦の一位のみをあげると、ボート部女子（舵付きフォア・ダブルスカル）、ボート部男子（シングルスカル）、陸上競技部（男子やり投げ）となります。

インターハイの上位入賞をねらう新体操をはじめとして、各部とも全国大会めざして、今まさに地区大会にのぞもうとしています。

各部の大会結果・活動の詳細は、本校のホームページ上に掲

好評発売中
三十六人衆
菊勇
醸造元
菊勇株式会社
酒田市大字黒森字殿屋敷山六五〇
TEL 〇三四-九二-三三三三（代）
FAX 〇三四-九二-四八五

自然の里　八幡の酒
美酒
麓井
フモトヰ
八幡町　麓井酒造株式会社
TEL 0243-64-2002
FAX 0243-64-2003

資料館のある酒蔵
酒王 初孫
初孫　蔵探訪館ご案内
○開館時間　午前10時～午後4時30分
○休 館 日　毎週月曜日
○見学内容　日本酒関連資料コーナー
タイプ別日本酒の試飲
映画上映　工場見学
○入 館 料　入館・見学はすべて無料です。
東北銘醸株式会社
山形県酒田市大字十里塚字村東山125番地の3
TEL：0234(31)1515　FAX：0234(31)5588

全国鑑評会（国税庁）　5年連続金賞受賞
上喜元
日航国際便に乗る“選ばれた酒”
酒田酒造株式会社
酒田市日吉町2丁目3-25
TEL 0234-22-1541
FAX 0234-22-1542

載されていますので、後輩の活躍の模様を是非ご覧下さい。

平成10年度山形県高等学校総合体育大会（開会式）

◎

全国高総文祭に向けて
―充実した文化部活動―

田中恵子

全国高等学校総合文化祭（略称・高総文祭）山形大会が、七月三〇日から八月三日までの五日間、山形市を中心に米沢、天童、新庄、鶴岡、酒田の六市において開催されます。この大会は「文化部のインターハイ」とも呼ばれ、二一部門にわたり全国四七都道府県から推薦された優秀な作品・団体・個人が一堂に集い、発表・展示・競技・交流が行われるのです。本校では、演劇部、吹奏楽部、美術部、文芸部が参加し、すでにその準備に忙しい状況です。

また、五月二日には「吹奏楽の集い」が、五月二三日には演劇部の定期公演、また六月十七日～二三日には酒東美術展が開催される等、酒東文化部の活動は、今年も充実の様子を見せています。

◎

平成十年度入試結果
―今春の進学状況―

佐藤公子

新課程三年目に当たる本年度の入試は、昨年度のような同教科内の科目間の平均点格差による調整の混乱はなかった。だが主要教科である国語と英語の平均点がダウンし、総合平均点も下がったこと事から理系の上位層、文系では平均点付近の中間層が減少している。

本校生にもこの傾向は当てはまり、高得点者の激減（特に理系のトップ層）になった。

だがセンター試験が全国的に低得点のため、実質二次試験の戦いとなり、二次で逆転するケースも例年より多かった。国公立大の合格者は、本校の目標である一三〇名にあと一歩の一二九名であった。実質合格率も六六・九%（一九〇名中一二七名合格）と六〇%台をキープしている。

十八歳人口が減少し大学入試の易化が進む中、合格者の数ではなくその質を求める時代に向かっている。今後、文武両道をモットーとする本校生が、その気力と粘り強さを生がして、どこまで自らの志望を高きに求めていけるかが課題となっていくと思われる。

現役生の入試結果

アドレス（http://www.sakatou.sakata.yamagata.jp/）

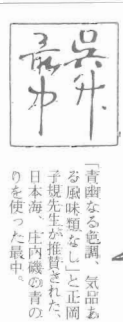
国公立大　過去７年間の現役合格者の延べ数と実数

	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
延べ数	149	159	139	116	145	136	129
実　数	134	148	131	112	143	133	127

平成9年より前期，後期制になりだぶり合格はほとんどなくなった。平成11年度より1学年の定員は240名

（参考：過去7年間の私立大現役合格者の延べ数と実数）

	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
延べ数	120	162	157	139	129	138	125
実　数	92	98	102	93	89	81	81



「青碧なる色調、気品ある風趣なし」と正岡子規先生が推賞された、日本海、庄内磯の青のりを使った最中。

日本海、庄内磯の青のりを使った羊かん。

（第16回）小松久雄
（第46回）小松尚
（第28回）小松一男

創業天保三年
全国銘菓協会員店

御菓子司 小松屋

本店　山形県酒田市日吉町一丁目２番１号
電話（0234）２２－５１５１(代)

玄米食を
してみませんか？

「玄米モーニング」

サンプル提供します。
ご希望の方は、右記へご連絡下さい。

オランダせんべい
酒田米菓(株)

佐藤　茂（第28回）

〒998-0033
山形県酒田市両羽町２－24
電話（0234）２２－９５４１(代)
FAX.（0234）２２－５２３９
フリーダイヤル０１２０－０００－２０４

母校の先生の移動

〈離任の先生〉

本間　誠司先生（国語・酒田中央）
阿部　智通先生（理科・鶴岡南）
佐藤　武典先生（保体・酒田商業）
阿部　寛樹先生（保体・大沢小）
堀　由起子先生（英語・退職）

〈着任の先生〉

渡部　真二先生（理科・鶴岡工業）
大谷　薫先生（国語・米沢工業）
吉田　元先生（国語・常勤講師）
青野　剛先生（保体・常勤講師）

亀城会だより

松山亀城会

会長　山中　俊

ながらく開催しないでありました亀城同窓会松山支部総会も諸条件の整備がなり、昨年八月の小松会長・知野校長の御来臨をいただき、庄町同窓会員名簿登載一五〇数名中三〇名の出席があり数年ぶりで無事開催し、感性多き青春時代の想い出話に花を咲かせました。

会則の変更、役員の選出など、会の基本事項を決定し、力強く新出発しました。しかしながら中堅会員の出席がないのが残念に思いました。会の存立目的としております母校の後援と母校同窓会との情報交換そして会員相互の親睦を図ることが大切であり、新たな発想でたとえは軽スポーツを開催するとか、近くの支部との交流会をもつとかして多くの会員が会同されるような機会をもちたいものと思っております。

何はともかく東京亀城会の会報発行、ほんとうにご苦労様です。貴会の益々のご発展を心からお祈りいたします。

平田亀城会

会長　高橋　昭七

現在、平田亀城会の会員は、百三〇名であります。年会費は、一人五〇〇円とし理事の方々が集金にあたります。収入は、会費のみであることから脆弱な財政状況であり、年一回の総会の開催と数年ごとに発行される会員名簿が目に見えた活動となっています。

当然、上部団体である亀城会の活動支援は惜しまずに行うこととしています。

年一回の総会が、唯一の会員相互の交流、親睦の場となっております。従来限られた人だけの出席でありましたが、昨年一月に開催した第十九回総会は、役員の方々の呼びかけが功を奏して、若い会員を含め二〇名の参加がありました。久しぶりに盛り上がりのある総会であったと好評でありました。

今後とも会員相互の交流、親睦を主に会の運営を図っていきたいと考えているところであります。

八幡亀城会

会長　加藤　茂藏

八幡亀城会の会員数は二二五名、会員名簿作成してから三年目、年一回の総会に出席される会員数は五〇

大浜ホテル
0234－26－2525
酒田市南新町1-5-23
（日和山公園側）

ホテル酒田
0234－23－7373
酒田市千石町1-13-33
（山居倉庫前）
渡部　哲也（21期）

庄内から新しい住宅が生まれました。
強い家…地震や台風にもビクともしない強靭な独自工法『COME工法』
暖かい家…家中どこでも快適住空間、高気密・高断熱など高性能化も可能
表情ゆたかな家…真壁造りなど多様なニーズにお応えする優れたデザイン性

それが カムホーム です。
カムホーム1st
山形市・平清木展示場
きっといつかは、COME HOME.
林建設工業株式会社
本　社：酒田市幸町一丁目6－6　Tel.0234(23)3322　Fax.0234(23)3329
URL:http://www.hayashikensetsu.co.jp/
『COME工法』は建設省及び外郭団体より「木造住宅合理化システム」として認定されました。

名～二五名位の実状である。「世界の常識が日本の非常識、日本の常識が世界の非常識」或は「無原則、無反省、無責任な経済動物の日本人」と世界から軽蔑嘲笑されている事実を国民の大多数は知らずに過ごしておるのではないでしょうか。

そしてバブルの崩壊によって、政官財の癒着と腐敗、その無責任振りの実態が国民大衆の眼前に露呈し、政治不信、経済の逼塞、失業者の増加、人倫の低下等による混迷と不安を醸成し、やがて日本丸は沈没するだろうと予言されている時、この現実を踏まえての活動でなければ意味がないのではないでしょうか。

それ故に会員一人ひとりが国家民族の主権者即ち責任者であることの意味を正しく自覚し、そして現状を直視し、そのよって来たる因果関係と、その対策を課題として活動すべきものと思う。

山形亀城会

会長　荻野　隆夫

東京亀城会の皆様には益々ご健勝で各界でご活躍のこととお慶び申し上げます。

今冬の村山地方は、庄内の大雪とは逆に雪は少なかったものの低温が遅くまで残りました。しかしようやく目にしみる深緑に包まれた季節になっております。

山形亀城会は、昭和二九年頃先輩の肝入りにより四〇人位で発足し、半世紀を経た現在では五〇〇人を超える会員規模になっております。

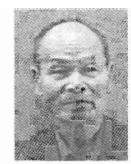
総会を毎年二、三月頃開催しておりますが、先輩と後輩が酒を飲み交わしながら楽しく懇談し、同窓の友であることを確認し合っております。

残念なことには、在住会員の把握がむずかしいことと出席者数が伸び悩んでいることです。

最後になりましたが、東京亀城会のますますのご発展と会員皆様のご多幸を祈念いたします。

遊佐亀城会

会長　斎藤　良太



昨年秋に開催された第二回目の亀城同窓会の合同会議は、全国の主要な亀城会が集うもので、大変意義深い会議であると思っております。

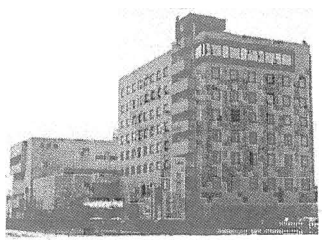
我が遊佐亀城会も、六つの地区の代表が参加して、会の運営を行っておりますが、今年度は二度の会合を持ちました。それというのも、最大の目的の一つである遊佐亀城会の会員名簿を作成するためのに、細部の打ち合わせを行う必要があったからです。

忙しい仕事の合間をぬって、会員の皆さんが協力して力を合わせていただいた結果、ようやく名簿完成のスケジュールが見えてきました。

今年七月の総会を控え、昨年来の重い気持ちが少しずつ軽くなってきた今日この頃ですが、東京亀城会の皆さまを始め、各亀城同窓会の皆さまと合同会議でお会いできるのを楽しみにしております。

＊亀城同窓会の動向については、同会報をご覧下さい。

酒田でのお泊まりは



ホテルサンルート酒田

SUN ROUTE

酒田市北新橋１－１９－７

☎0234－26－1212

ペンション
タイプの
グルメの宿

日和山ホテル

手造りの味・ふる里の味を
お楽しみ下さい。

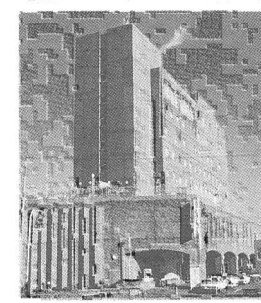
酒田市南新町２－２－４

TEL 0234-２２－０１０２

FAX 0234-２２－３０６７

佐藤正一郎（28回卒）

ご宿泊にビジネスにご会合に最適



ホテルリッチ酒田

〒998-0834　酒田市若竹町1-1-1

TEL 0234-26-1111　FAX 0234-26-1119

同期会・昨日今日

酒中第十三回同期会

佐藤昌祐（13回）

同期生の平均はついに八〇歳となった。

昨年五月現在、物故者六九名、生存者五一名であった。そのうち東京亀城会員は約十名である。東京での同期会は開かれていないが、私の展覧会に来場の同期生が数名居てなつかしく有難く思っている。

酒田方面で行われる同期会は、二～三年に一度催され、昨年は佐藤七郎が幹事長となり、酒田市、簡保の里で催された。

次回は佐藤壮也氏が交替し、八幡町方面の人が幹事役となり、近年中に開催の予定。恩師の村上与市先生（九八歳）もお元気の事と思われるので昨年同様御出席戴けたらよいがと思っている。

先生からは老後の生き方及び長寿の法をただ拝見するだけで学びとれるので恩師の中でも特に生涯の師と思っている。先生は現在身長一八八センチ、背すじは垂直、視力、聴力共に障害なし……から受ける感銘である。

因みに在学中のニックネームは大将。のち庄内農高の校長→藤島町長八年。現在、鶴岡市居住、酒中では生物・柔道の指導を受けた。酒田中在任は昭和八年～一五年である。

今年の寿禄会は喜寿の会

藤井常雄（16回）

平成十一年春の第十六回卒「寿禄の会」は、期友越後谷悦郎君（東工大名誉教授）の長年の功績に贈られた春の叙勲『勲三等旭日中綬章』受章記念と、同じく高橋幸吉君（元大洋漁業）の波瀾万丈数奇な人々との出合いを克明に綴った自分史『人生は出合いである楽しからずや』の出版記念を中心とした会で、恒例のニュートーキョウ「さがみ」で五月八日に開催された。

特に今年は我々同期が平均満七七歳を迎えての『喜寿の会』でもあって、お互いに健康で過ごしている事を感謝しつつ、一同いろいろまとめての盛大な祝杯を挙げ、それぞれ快気炎も上げて大いに盛り上がった。

もちろん七七歳とは言っても、現在では日本人男性の平均寿命に過ぎないので、今やっと一人前になったばかり、これからが本当の余生「新生年」への第一歩という所。

今後一層、この新しく生まれ替わった余生を益々元気で過ごしてゆき、「寿禄会」が何時までも長続きするように頑張りたいものと誓いあって散会した。

後列左から　斎藤敬二、渋谷嘉三、樋口幸治、石川文長、庄司悌二、藤井常雄、小野和雄
前列左から　髙橋　浩、今野　誠、中村恒也、越後屋悦郎、髙橋幸吉

第二三回卒業生東京同期会

倉田研一（23回）

「会報の平成元年号」で、私ども第二三回卒業生の在学中の模様や東京同期会の様子をお知らせしましたが、以来毎年五、六月頃に集り古希を迎えた嘗ての酒中健児が、青春時代同じ空間と時間を共有した仲間のみが味わえる感激も新たに、大いに気炎を揚げております。

時には札幌から石黒兄、兵庫県西宮市から中原兄が駆け付けてくれ、約三〇名の会員ですが出席率は五〇%前後。昨年は全体同期会の代表幹事をつとめる『蜂屋』の斎藤晃一兄（知らない人は〝もぐり〟ですぞ。昨年創業百年を迎えた老舗の時計屋さんのご主人）がお土産持参で酒田から参加、いちだんと盛り上がった次第。

「わがふるさと酒田」での同期会は隔年行なわれており、小生も現役卒業後平成八年由良温泉、昨年酒田の料理屋さん「治郎兵衛」での同期会に出席、五〇年ぶりの面々も多いが飲むほどに酔うほどに白髪の爺さんが昔日の紅顔に甦り、これまた楽しく昔話が尽きない。あゝ青春再び得ざるを思う。

（卒業生一八二名、物故者四三名）

後列左から　後藤　健、小松康世、本間　勲、青山嘉博、小松和雄、大滝広治、荘司　等、富樫　明
前列左から　伊藤誠二、仲條立一、倉田研一、斉藤晃一

続けることはいいことだ

斉藤昭三（22回）

東京を中心として、その周辺に住む同期生の集まりを、これまでも毎年の行事としておこなってきたが、今年も四月十五日正午から、五反田のゆうぽうとに集合してにぎやかな一時を過ごし、旧交を暖めあった。

参加するメンバーと人員はその時によって異なるが、毎回出席の面々も固定化しつつある現状である。

高齢化社会といわれ、高齢者が無視される社会的風潮の中で、未だ各界で健在振りを発揮している人もあり、パチンコに熱中してプロ並みに腕を上げている人もいるなど、話題の方でも事を欠かない一日であった。

その一方で、昨年からの一年間で二名の友人が天国に召されたことなどが有り、全員その死を悼むとともに、これからも健康には一層気をつけようと云うことになった。

郵政業務で活躍した功績が認められ、秋の叙勲で勲三等の栄誉を手にした佐久間正氏を全員でお祝いするなど、多彩にわたる一日であったが、同級の五十嵐邦夫氏（酒田）から大量差し入れの銘酒「上喜元」で喉を潤しながら、自慢のカラオケの興ずるなど、楽しい会合であった。

「酒東二八会」卒業四五周年記念総会を開催

五十嵐昌士（28回）

昨年（平成十年）八月八日我々同窓は酒田東高校卒業四五年目に当たり、郷里酒田（於・産業会館——欅）で四五周年記念総会を催しました。

参加者は八三名にのぼり、内二割の十七名が東京方面からの参加でした。

今回の総会後の懇親会は特別な催しは行わず、時間の許すかぎり旧交を暖め合い、記念撮影後に一応解散し、解散後は各クラス毎に再び場所を替え、六〇ウン才のクラス会を様々な所で個々に催しました。（クラス数は十組）

始どの方が年金を受給する年齢となり、話題となるのは専ら孫の話や第二の人生の話になり、今回出席してない方の消息を話したり、語りつきない時を過ごしました。

同期会・昨日今日

今「関東三一会」の活動は？

青塚虎雄（31回）

昭和三一年に卒業の「関東三一会」も、還暦を迎えてから集まる回数が少なくなった。これは幹事の積極的な働きかけがないからであろう。会員からの希望のないところをみると、幹事のせいともいえないかもしれないが、そろそろ会社勤めの定年退職組が多くなったからだろうか。

しかし「三一会」より年配の会、例えば、会報に毎回掲載される「東京二八会」、「東京ふくの会」、「東京ボプラ会」等は、毎年良く行事を続けておられる。会の名称に親しみがあって卒業年次がもじられている。しかも男女の参加人員が多いのが特徴である。

これは確かで熱心なプロモーターがいるに違いない。上記三つの会は昭和二八、二九、三〇年卒と続いた年次の会である。近い年代がお互いに影響し合っているのかもしれない。しかも飲む会だけではない。海外旅行あり、歌の会あり。近郷の旧所名跡を訪ねる機会をつくったり、趣向に変化をもたせていて心憎い。

続く「関東三一会」は、今年何らかの集いを開催してくれるのだろうか。

関東地方在住者による「東京二八会」も毎年開催しているのですが、昨年は酒田での四五周年記念総会に参加すると云う事で休会にし、本年は通常どおり十一月に開催する予定です。

なお、後数年で五〇周年を迎える事になるので、今から何を催すか思案中です。

会員のなかで何か素敵な案が有りましたら一報ください。

同期会・昨日今日

酒田から集まり同期会

長谷部和良（34回）

十年一昔という時代がありましたが、今の時の流れでは十年過ぎると何もかもなくなってしまうという時代でもある。各世代の皆様にも冷たい不況風がいつ止むともなく吹き続けております。ゆっくり構えていると忘れられとり残されてしまう今日、お互いにここ一番元気を出して乗り切らねばなりません。私共三四会（会長角田祐次）は毎年八月のお盆休みに酒田で開催されておりますが、昨年度は十月二四日東京は上野東天紅で酒田から十数名、関東近県在住者合せて三〇余名の有志が、久しぶりになつかしい顔と顔とのご対面、お酒が進むにつれ舌はまわり話がはずまない訳はない。二次会も遅く迄昔話に華がさき、盛会のうちにお開きになりました。今年度の三四会は卒業四〇周年に当り、来る九月二三日泊りがけの同期会が羽黒山で開催されます。卒業以来一度もお会いしていない方も沢山いらっしゃると思いますが、この機会に多数の皆様のご参加がどれだけすばらしい出会いとなりますか、楽しみにしたいと思います。尚今年度の東京亀城会は三四回生も実行委員となります。少しでも楽しい会になる様努力したいと思います。同期の皆様の多数のご参加をお待ち申し上げております。

プレ四〇周年の「珊瑚の会」

本間国義（35回）

昭和三五年卒「さんごの会」は来年、母校の創立八〇周年と同時に四〇周年を迎えます。

一月二三日東京地区新年会は、相馬君の銀座「おばこ」で開かれました。伊藤幹事の檄が奏効し、酒田から同期の知野弘酒東校長、長澤俊樹市教育委員が、更に仙台から西村君、長崎から荒生君もかけつけ、一段と盛大な会となりました。知野君は母校のようす、長澤君から来るべき本会及び母校の周年記念行事の準備活動について紹介があり、乾杯。

頭の黒い人、白い人あるいは広い人が、すぐさま徳利片手に離合集散、談論風発。その群像の中に、昔のガキ大将の前で正座謹聴している私がいる。

大味の西部劇よろしく、随所でビックバン・ビックバンとかまびすしい昨今ですが、ここだけは春風駘蕩、庄内弁が飛び交い笑いがはじける。坂野君の詩吟が始まる。皆ウットリ聞いてはいるが、酩酊した向きにはちんぷん漢文。アッという間に中締めとなる。

折角の故郷の料理を食べそこね、翌日二日酔いと共に悔いるのは私だけでしょうか。友と地酒を酌み交わす…年に一度の至福の時でした。

友遠方より来たる

—東京ふくの会—

冨樫弘喜（29回）

昨年の「東京ふくの会」は、四月の同日ダブルイベント「横浜クルージング（十二名）」「深大寺観桜会（二一名）」を皮切りとして、五月に「横浜・港の見える丘公園バラ観賞と近代文学館巡り（十四名）」を開催。

六月に「第二七回・総会」。四四年振りの初参加者三名を加えて五五名が池袋の「かんぽヘルスプラザ東京」に参集し歓談、あっという間の二時間半でした。そして十月。在独三二年、デュッセルドルフで会社を経営する三丁目俊三君が一時帰国の報に、横浜の女性グループが主導して。開業間もない「横浜ベイ・シェラトンホテル」で歓迎会を開催しました（写真）。学校時代やドイツ旅行で所縁の二一名が、ベイスターズ三八年振りのセ・リーグ優勝に沸く横浜西口で三次会まで。

以上計五回（延べ一一三名）。これでも前年のやり過ぎを反省しての数字ですが、なお「今年の忘年会は？」の督促があり、結局、千葉・神奈川など、地域ごとの会を楽しむことになりました。

同期会・昨日今日

「いなほ会」というのがあります

樋渡　登（44回）

我が会の名を称して「いなほ会」という。いかにも酒田らしい名前ではないか。これを「稲穂会」と漢字で書かないところがいい。会場の予約札などにはよくそう書かれてしまうのだが、どこかの圧力団体みたいでパッとしないし、我々じたい別の会のように思ってしまうから不思議だ。酒田の方では四四回卒をもじって「獅子の会」というらしいが今更そんなに元気が出るわけでもないし、「いなほ」が年相応というところか。

もとは上京した当時から往来していた数人が、他郷の人も交えて年数回旧交を温めていたのが発端のようだが、今では同期会になり年一～二回新宿を中心に開いている。連絡がつく範囲で毎回十人程度自由に集っては趣味の話などに興じている。近年では女性陣の参加もあり、高校時代では聞けなかった気になる話に花を咲かせるときもある。酔うほどにタイムリップしていく我らからはもはや頭の薄さ白さなどはすっかり飛んでしまい。三〇数年前の自分がそこにいるだけとなる。（ンダンダ、オメサンモ、カワンネノ…）

毎回新人が参加

幅屋　仁（39回）

我々三九会（関東地区酒東三九会）は、何らかの組織立った活動を特に目指すものではなく、日頃バラバラに数人単位で集って催している飲み会を年一度一堂に会して飲もうではないか、というのがそもそもの始まり。皆其々、会社や家庭（？）の人間関係の煩わしさを一時でも忘れて酒東時代にタイムスリップする、そういう場を楽しみ享有したいというのが本音のようで、従って、本会をベースに何らかの行事やら活動を行うものではなく、ひたすら、「飲む」ことを肴にして旧交を温めることに徹しております。また、毎回必ず「ニューフェース」（住所不明になっていたかまたは連絡のつかなかった同期生）一～二名が加わって、卒業以来、ン十年振りの再会を果たすことも大いなる喜びとなっております。本会は、酒田「本家」の三九会（現「燦久会」）とは別個に始まり、基本的には東京を中心に関東一円に在住に同期生から成りますが、この地区以外に住んでおられる方で参加ご希望のある同期生諸君、是非幹事宛て連絡下さい。

大役

池田明幸（52回）

平成十一年一月一日、中学の同期会が、後藤重明君たちの幹事で行なわれました。

元旦に八幡神社集合、お払い、記念撮影後、ホテルサンルートで宴会という内容で、小松智弘君、小松善弘君、佐藤博子さん、佐藤裕樹君、曽川きぬ子さん、土田徹君、松坂孝君らと久方ぶりに語り合いました。楽しかったなァ。それにしても幹事によるこの会の運営はスムーズで日時の設定から、名簿の作成、ハガキを印刷しての出欠確認、会場の設定、打ち合わせ、それに宴会では司会にホスト役までと、そのご苦労はさぞや、と察せられます。これこそ大役（時に、大厄）で、無事に終えることができたことが後藤君にとって一番の厄落としだったのかもしれません。

さて、東京亀城会にあっては今般会則の改正案が七月十日の総会に提出されていたりと運営に関わる透明性が高まっていて、分かり易く参加しやすい組織に向け大きく前進しています。さらに、同期会の幹事の負担を軽減させる提案もなされています。この機会に厄落とし長けた先輩の力を借りて何とか行動に移せればと思っております。どうぞご協力下さい。

初めての同期会

阿部浩美（54回）

高校を卒業し上京して、丸二〇年が経ちました。東京で同級生に会ったのは、学生時代に二、三回程度で、働くようになってからは一度もありません。

お盆に酒田で、初めての同期会が開かれることになりました。地元に残っている人のがんばりで、三年に一度クラス会を開いているので、クラスの人の状況は、ある程度知っているのですが、他のクラスのことは全然わからないので、再会がとても楽しみです。

二年前に東京亀城会の存在を知り、総会に出席してみて、諸先輩方が、東京でも同期会を開いていることを知りました。

この夏帰郷した際に、東京でも同期会を開こうと、皆に声をかけようと思います。

高瀬　清　先生

茫々三〇数年、得意げに嘘っぱちを並べていた頃を思いだすと、恥ずかしい。（最も、それは生徒諸君のせいでもあるが。）

定年退職三年目、今は光丘文庫で宝探しをやっている毎日。ほんとうにここは、金にならない宝物が埋もれているのです。これを少しでも市民に開放し、親しんでもらうのが現在の仕事です。みなさんも帰郷の節は、ぜひ遊びにおいでください。昨年は佐高信氏が「懐しい」を連発し、古びた机で読書のポーズを撮影して行かれました。（放映済み）今も、後輩たち（なぜか女生徒ばかり）が昼過ぎからやってきます。酒東精神健在！というべきか。

光丘文庫ご案内（身延雑詩）

古びた私殿造りの洋館に
芭蕉の蝉が未だ喧しい。
昔　砂潟の灼けた砂に
松苗を植えた男※がいて
句を嗜み書物を蒐めた。
今　鬱蒼と寂れた文庫を
年の停まった男が守る。
旅人の誰か来バえちゃ――
古文書に眼を凝らせば
鳥海も永劫の刻も霞む

※　注、本間家三代光丘翁（一八〇一年没）

工藤　辰也　先生

酒東には十五年間、お世話になり八八年に退職しましたが酒田中学校の生徒だった四年間をあわせ、十九年間にわたり亀ヶ崎城跡に通ったことになります。

その間、幾多の変遷を経たが、グランドから見える鳥海山は、こゆるぎともしていません。旧校歌『あぁ見よ鳥海』が好きですが、今でも歌うと胸が熱くなります。やっぱり鳥海山の見える所がいいと思います。ひまをみては山麓を歩きまわるのを楽しみにしています。

一方、いまだに数学から離れられずに、私立高校の非常勤講師をしています。永い間、若い人たちとのつき合いが中心だったため、高校生たちを見ているのが好きだから出来るのかもしれない。彼等には、あぶなっかしい所もあるがやがて確実に大きくなっていく所がいい。この生徒たちからは、はげましと勇気をもらっているような気がする。

『逃げ水を追い続けてや　古稀すぎぬ』

横尾　昭壽　先生

東校には昭和三八年度から定時制、全日制合わせて十年間お世話になりました。その後遊佐高、北高を経て今は西高です。西高は昨年校舎を新築、移転しました。市街地の北端で、鳥海山の勇姿が目前に広がるところです。西高は九年前から男女共学校となりました。現在は女子二、男子一の割合なので男子が随分多くなりました。今の私は新校舎で快適に過ごしております。

私生活では、最近森林浴を楽しんでいます。ここ庄内では、五月から六月半ばにかけて新緑は真っ盛り。木々の若葉が萌えるころ、山は以外にも秋の紅葉にも負けず劣らず色彩が豊かです。それに誘われて休日はよく山へ出かけています。わずかながら、わらび、うど、あいこなどを採っては食卓に添えています。これからの山菜、きのこ、薬草などおぼえたいと思っているところです。

最後になりましたが、東京亀城会の益々のご発展をお祈りいたします。

OBを訪ねて

長坂　満

インドネシア石油株式会社
専務取締役

ながさか・みつる氏（二八回）、東北大学理学部卒業。石油資源開発を経て、インドネシア石油株式会社に入社。常務を経て、平成九年から現職。

―高校生活は？

楽しかったですね、コーラス部に入り、岸洋子らとともに歌っていましたからね。優秀な音楽の先生もいましたから、レベルは相当高かったですね。

―東と西の校舎に分かれていましたね？

月水金が東校舎、火木土が西校舎で、変則的に通学していました。席順も男女が市松模様になっていて、面白い体験でした。

―石油の試掘はかなりハードな仕事ですが？

現在は東南アジアを始め、中近東、米国など世界中で行っていますが、語学と精神的・肉体的な強さに加え、やる気が必要です。

―現代のマニュアル人間には、厳しい仕事に見えますが。

高校の頃に冬でも足駄で東と西に通学し、精神的・肉体的にも鍛えられていましたから、私にもできたのだと思います。

現代の若い世代は、言われたことはマニュアル通りに実行します。しかし、マニュアルにない問題にどのように対処するかが、本当の仕事です。石油の試掘は、施設が整っていないところでやるのがほとんどですから、問題が起きた場合は、自分で解決しなければならない。そのためには、若いときの様々な経験が役に立っています。

日向　隆

日本大学理工学部教授

ひなた・たかし氏（二九回）、日本大学理工学部卒業。日本電信電話公社、沖電気工業株式会社を経て、昭和五八年から、同大学理工学部電気工学科で現職。

―亀城会のなかで最も同期会を開催しているのではないですか？

二九回卒は、昭和三二年に池袋で初めて同期会を開き、三〇回ほどになります。現在は、この研究室が根城になっています。

同期会の記録と名簿などが私のコンピュータに入っており、同期が研究室でビールを飲んでいる間に、授業に出ることもあるのです。

―研究している分野は？

電磁波の散乱問題や光導波路の伝送特性などで、具体的にはレーダーや光ファイバーなどです。会社での仕事に魅力を感じなくなり、大学に戻ってきたのです。

―理系には高校の頃から興味が？

席が前の方だったので、鳥海先生に直接指導されたり励まされて、数学が好きになり、物理系に進むようになりました。

―教授になられた頃に比べて現代の学生は？

地味に勉強をしている学生と、目立とうとしてパフォーマンスをやる学生の二極に分かれる傾向にあります。また、多量の情報を自分のレベル判断できない学生も多くなりました。自分にとっていちばん大切なものは何かを、真剣に考える必要があります。それには、情報より先に、本当の善悪、道徳、美しいものに若い頃から触れおく必要があるのです。

丸岡　章

東北大学大学院
情報科学研究科教授

まるおか・あきら氏（三六回）、東北大学工学部卒業。助教授を経て、昭和六〇年から同大学工学部教授。平成五年から現職。情報科学の研究に取り組んでいる。

―現在研究されているのは？

情報処理一般を広い意味での「計算」と見なし、効率的な計算の原理は何かを研究しています。最近は、人間が学習して賢くなるということさえも計算と見なし、その仕組みの解明を目指していますが、インターネットでの検索、マーケティングなど、膨大なデータから望みのものを取り出す問題とも関連しており、注目を集めております。

―理論研究には、学生の頃から興味が？

大学生のときは、勉強は好きではありませんでしたが、見学会で訪れた会社も好きになれませんでした。結局、大学院で理論研究の先生に出会い、誰も見つけなかったことを自分で発見することの面白さに惹かれたのです。

―大学の独立行政法人化も話題ですが。

大学の研究教育に対する説明責任が問われており、法人化も議論されております。学生による授業の五段階評価など、すべての面で効率化、透明化を図る流れになっています。

―若い世代に一言。

自分が興味を持てるもの、打ち込めるものを見つけてもらいたいものです。たくましさが消えて、自分が本当にやりたいことを見つけようとする志が希薄になっている人が増えているのが心配です。

ふるさと発

酒田市に、待望の四年制大学が。

酒田に初夏を告げる「酒田まつり」が五月に盛大に開催され、名物の獅子頭や山車、山鉾（やまぼこ）がにぎやかにまち中を練り歩きました。

六月下旬からは、飯森山公園で「あじさいまつり」が開催され、一五、三〇〇株、九四種のあじさいが楽しめます。帰省の際はぜひお立ち寄りください。

ところで、待ち望んでいた庄内地域四年制大学の学部設置が酒田市に決まりました。平成十三年四月の開学に向けて、現在準備を進めているところです。

この大学で取り組むのは「公益学」。これまでにはない学問です。酒田では、大学と地域とが一体になった、新しいまちづくりが始まろうとしています。

今年は十一月七日に開催される「ふれあい酒田」

市内をねり歩く獅子頭

特別企画　諸先生のニックネーム（昭和16～20年頃）

担当	氏名（敬称略）	あだな
教頭・英語	上野伊栄太	トトコ
国語	成沢平吾	レンズ
〃	斎藤修治	イサ
国文法	高山久太郎	チョギュウ
漢文	加藤悌治	ニヤ
		聖人
英作文	斎藤重蔵	ラッキョ
英語	佐藤末治	ハブ
〃	船越千重	エンマ
〃	奥田敬四郎	イト・イズ
代数	黒田三十郎	マルカン
〃	鳥海俊士	チョウカイ

そのいわれ等

頭部・喉の感じ。とくに横顔……。ド近眼で、分厚い眼鏡。京大文学部卒。「人はイサ心も知らず……」の和歌の講義から。陸軍中尉、教練も担当。明治の評論家・高山樗牛の甥。

酒中一のハンサムと自称。

漢文「子ノタマワク……」から。修身も担当。

顔の感じ。酒中二回生。

"I have"を「アイ ハブ」と発音、ズーズー弁英語。酒中一回生。

手をあげないと弓の矢の鞭でボカボカ叩く。前回の授業が暗唱できないと運動場を一～三回走らせる。進学には多大の貢献。

"Ⅱ"の発音から、変人。労力低下に大いに貢献。

この問題は「マルデ、カンタン」、略して「マルカン」だと言うのが口癖。進学に多大の貢献。

姓トリウミの音読み。計算を間違え

もっとすてきに
創・快・環
第一スミハン株式会社
伊藤利之
（31回卒）
酒田市東町1－16－1
TEL（0234）22－4331
FAX（0234）23－3931

天下の名湯高湯温泉
大きな温泉風呂のある
鳳舞山
和風ペンション
☎0245(91)1401
半田　節彦
（昭和35年卒）
〒960-2261
福島市町庭坂字高湯3:6－7

八幡町の祭り

町では、古くから伝承されている青沢獅子踊りや福山神楽など、神社の例祭に奉納される郷土芸能がありますが、特に五月一日の八幡神社や飛澤神社の例祭では、早朝から、大きな掛け声をかけながら特異な身振り手振りの奴振りの行列が、各家々を練り歩きます。その独特な姿は、祭りの象徴的な存在として住民に親しまれています。そして荒瀬川の河原では、その年の五穀豊じょうを占う流鏑馬（やぶさめ）の神事が行われ、馬上で弓を射るその姿を見ようと見物人も集まります。

そのほか、白装束の天狗が家々を舞う大島田区や、子供獅子舞が舞われる升田区のほか、この日は、各区で神輿や獅子舞を舞う姿が見られます。

流鏑馬の神事

歩けば自然の声が見えてくる ―遊佐町

「聴こう！山のささやき、波の高鳴り、大地の鼓動」をテーマにした「奥の細道・鳥海ツーデーマーチ」は、九月四日(土)・五日(日)に開催されます。

コースは、「みどりと庄内砂丘日本海コース」と「水の鳥海山麓　自然コース」があり、それぞれ四〇キロ、二〇キロ、十キロに分かれています。各コースには、地元の人々のボランティアによる湯茶接待所や売店などが設けられ、参加者は、まわりの自然を楽しみながら人々との交流を深めています。

高齢者の大会的傾向にあったツーデーマーチだが、近年、歩くことへの理解と実践が高まり若い人たちや家族連れの参加が増加しています。

自然を楽しみながら歩く

物理　小橋　平ケツ
〃　佐藤　弘一　ネッコ
化学　石沢　源五郎　ヤカン
日本史　加賀山　鋼太郎　コロスケ
東洋史　小松山　勝一郎　カッパ
地理　中川　佐泰　フグ
生物　阿部　七郎　カク
作業　内村　権四郎　ゴン（チャン）
体操　天野　四郎　トンボ
音楽　斎藤　直蔵　ナオチャン
図画・工作　篠崎　亮　ボク
〃　五十嵐　悌治　モサ
剣道　武内　重四郎　キャー
教練　山本　チョンベ
〃　伊豆　亀松　イズ

る名入。酒中一回生。
両ホッペタが盛り上がっているので……。
就任の挨拶「根かぎりやります……」から。
丸顔、秀頭……。
当時の漫画「コグマノコロスケ（吉本三平著）」の連想。専門は公民（公僕）。
顔の感じ、とくに上唇が……。専門は漢文・国語。
顔の感じ、別名カバ。
不詳。別名ヤギ、たしか酒中で山羊を飼育していた。
名前から。作業とは農作業のこと。
スリムな体型と大きな眼鏡。
名前から。酒中一回卒。
東京育ちで、自分のことを「ボク」と言った。美校の洋画出たて。
ドンブリ腹掛けで出勤したことがある。美校の日本画を優秀な成績で卒業。
剣道の気合から。
ヒョットコのこと。陸軍中尉。
姓がそのままアダナ。陸軍準尉、退役して久しいが、チョンベ教官と呼ばれた。
（資料提供・佐久間　正）

郷のあじ
Chokai 鳥海
都心で庄内の味を味わってみませんか！
20名前後のクラス会などにご利用ください。
港区新橋2-2-4
パイオニアビル2・B1
☎03－3502－9050
佐藤　猛（47回卒）

上林眼科医院
院長　上林　茂（昭和二七年卒業）
〒三六二－〇〇四七
上尾市今泉二六五－六八
TEL　〇四八－七八二－〇二九〇
FAX　〇四八－七八二－五七〇九

相川・田中法律会計事務所
弁護士　相川　俊明（昭和三三年卒）
東京都新宿区四谷一－九
有明家ビル6F
電話　〇三－三三五三－四六三八
FAX　〇三－三三五三－四三一八

ふれあい市場旬のにぎわい ―平田町

魅力づくりを進める我が町の『元気』をお届けします。

新しい交流の場を目指して町と会員二五団体の主催で産声をあげた「ふれあい市場」は四年目をむかえました。

今期の初日となる五月は山菜シーズンが本格化してきたこともありワラビやウド、孟宗などの山菜類をはじめ、朝採りイチゴ、笹巻きなどに溢れ、安くて新鮮と大好評。春の味覚を買い求める大勢の人でにぎわいました。

今年度から毎週水曜日に夕市も開催し、低迷する農業への活性化を目指し来年四月に開設する農産物直売所に向けて、直販システムの充実を目指しています。

山菜と新鮮な野菜がいっぱい

松山城薪能 ―松山町

初夏の夕闇の中に、かがり火が焚かれ、松山城大手門を背景にした能舞台が照らし出される。昭和五〇年、松山町歴史公園の完成を記念して、城門前で初演された薪能は、三〇〇年の歴史をもつ松山能に新しい息吹きをもたらした。庄内の黒川能がよく知られているが、県の無形文化財に指定されている松山能は、町方に伝えられたという貴重な存在である。元々は、江戸勤番の武士が修得し、松山に伝えたものである。

今年は六月十二日に、「羽衣」と「土蜘蛛」の能が二番、狂言と観世流の素謡が披露される。入場券は当日料が二〇〇〇円で呈茶券がつく。是非、ご鑑賞下さるようにお願いしたい。

300年の歴史

酒田市長
阿部寿一
（昭和五三年卒業）
〒九九八・八五四〇
山形県酒田市本町二丁目二―四五
電話 〇二三四（二二）五一一一
FAX 〇二三四（二二）五四六四

北郷耳鼻咽喉科クリニック
院長
北郷直克
（昭和五年卒業）
〒二三三・〇〇五六
横浜市南区通町一―二
電話 〇四五―七一五―一一三三
（大正十四年南蒲依小学校卒）

西荻中央病院
理事長
院長
村上冨吉
（昭和九年卒業）
病院 〒一六七・〇〇四二
杉並区西荻北二―五五
電話 〇三・三三九六・三一八一
FAX 〇三・三三九六・三一八六
自宅 〒一六八・〇〇七一
杉並区高井戸西二―一六―三九

蒼騎会代表
画家
佐藤昌祐
（昭和十二年卒業）
練馬区東大泉二―三〇―十四
電話 〇三・三九二五・六二七二

東京亀城会 会長
佐久間正
（昭和二二年卒業）
世田谷区代田一―四〇―四
〇三（三四一一）八五四五

粉末冶金製品
含油軸受・機械部品
東北唯一の焼結金属工場
三友特金株式会社
代表取締役
高橋重雄
（昭和二四年卒業）
本社 目黒区上目黒一―三―九
電話 〇三（三七一九）五四二一
FAX 〇三（三七一〇）六九九七
山形工場 遊佐町大字藤崎字茂り町二一九五
電話 〇二三四（七五）三三一一
FAX 〇二三四（七五）三三一六

富士レビオ株式会社
常勤監査役
佐々木猛
（昭和二五年卒業）
〒一〇三・〇〇〇七
中央区日本橋浜町二―六二―五
電話 〇三・五六九五・九二〇〇
〒一〇四・〇〇五一
中央区佃一―十一―七―一四一〇
電話 〇三・五五四八・二三九〇

三生ビルマネージメント株式会社
代表取締役社長
村上智也
（昭和二六年卒業）

環境にやさしい町づくりを ―立川町

世界的に環境問題への取り組みが盛んな今、立川町でもクリーンエネルギーとして注目される風力発電や、生ごみを利用した堆肥生産センターの稼動など、環境に優しい町つくりをすすめています。

そうした中、立川町ではイベント「エコランド'99」を今年初めて開催します。内容は、エコフェスタ（ラベンダー）、清流ランドフェスタ、環境とエネルギーセミナー、また、庄内の発電施設を巡るエコエネルギーの旅など四カ月にわたりイベントを開催、町民と一体となって環境について考えて行こうというものです。今、立川町は未来の地球のことを考え、一歩ずつ歩きだしています。

「清川ダシ」を利用した風力発電

文化創造館・響ホール ―余目町

余目町仲谷地に建設中の「文化創造館・響ホール」が十月一日にいよいよオープンします。

このホールは芸術文化と生涯学習の新しい拠点として平成九年に総額約三〇億円をかけ着工。

延べ床面積約五〇〇〇㎡の四階建約五〇〇席の音楽ホールや小ホール、町民ギャラリーなどを備えた本格的な音楽を楽しむことのできる空間となっています。また世界的に有名なドイツ製「スタンウエイ」のピアノを一五〇〇万で購入し、配置する予定です。町では計画段階から一貫して「住民参加」を掲げ、設計コンペを公開し運営方法を探るフォーラムも数回開き、住民の声をできるだけ反映させています。こけら落とし事業には、ピアニストの中村紘子さんのコンサートを予定しています。

住民参加のホール

日本水工設計株式会社
代表取締役社長 伊藤俊美（昭和二五年卒業）
〒一〇四・〇〇五四 東京都中央区勝どき三丁目十二番一号 フォアフロントタワー
電話 〇三―三五三四―五五一一㈹
支社 東北・東京・名古屋・大阪・広島・九州

東清株式会社
会長 金湖東吉（昭和二五年卒業）
大田区大森北一―五―一 大森海上ビル三階
電話 三七六一―七七八八

医療法人社団愛慈会 西佐倉病院
理事長 池田浩（昭和三三年卒業）
千葉県印旛郡印旛村岩戸 京成成田線臼井駅南西行バス 西佐倉病院入口下車
電話 〇四七六（九九）〇二六一

三井製糖株式会社
代表取締役社長 上野榮枝（昭和二六年卒業）
〒一〇三・八四二二 中央区日本橋本町二―八―二
電話 三六三九―九三一一

エレクトロニクス部品総合商社
株式会社 栄電子
代表取締役会長 染谷英雄（昭和三五年卒業）
千葉市美浜区中瀬二丁目六番地 ワールドビジネスガーデン マリブウエスト二十八階
電話 〇四三（二九七）〇八一三
FAX 〇四三（二九七）〇八一四

税理士 飯野紘（昭和三四年卒業）
〒一〇二・〇〇七五 千代田区三番町七―五 ヨーボ麹町二〇七号
電話 三二六一―〇六九一㈹
FAX 三二六一―〇六五五

岡部建設株式会社
代表取締役 岡部長征（昭和三一年卒業）
相模原市若松一―一―十四
電話 〇四二七（四五）九九四九
自宅 町田市本町二九一三
電話 〇四二七（二九）三七四四

酒田事務所 酒田市本町二―一
電話 〇二三四（二二三）〇四一一
東京事務所 新宿区信濃町十一番地
電話 〇三（三三五五）二〇一三
自宅 酒田市東大町一―一―六
電話 〇二三四（二二）七〇一六

世の中の根底が揺れてきましたが、三十年間の国会を離れ、わが政治入生を如何に充実させるかに思いを巡らせている次第です。何とぞご叱声をお願いいたします。

前衆議院議員
阿部昭吾

同窓だより

軟式庭球関東地区ＯＢ開催報告

何歳になっても先輩はありがたく、また怖いものです。先輩の指示に従い第一回軟式庭球部関東地区ＯＢ会開催の報告を致します。

時は昨年十月、場所は新宿。伊藤、松本両先輩をはじめ往年の名選手十二名が白川、丸藤両先輩のお骨折りで参集しました。皆さん卒業から三〇年前後経っても昔の気分が抜けきらず、青春はこれしかないと思っていたあの頃の記憶が甦りました。

「勉強さねどごげらっでの、いいクラブだもんだけの。亡ぐなた白崎先生のコートさ来られっどぎの自転車思い出すの」等々話は尽きません。相変わらずのマドンナ篠田、杉本両先輩も参加され、感極まってしまった某大先輩の名前は伏せておくのが後輩に引き継がれた良き伝統です。年に一回ぐらい飲ろうということになっています。庭球部諸先輩のご参加をお願いします。

出席者（卒年）

伊藤治之（38）、松本彦造（38）、相蘇　啓（39）、小倉有三（41）、林秀市郎（41）、白川　修（43）、篠田美智子（43）、遠藤　功（44）、丸藤　晋（46）、杉本千賀子（46）、日向直之（47）、松田　格（48）

酒東柔道部後援会東京支部活動報告

齋藤　剛（33回）

酒東柔道部後援会東京支部の平成十一年度総会は、四月二五日（日）十四時より、五反田〝ゆうぼうと〟にて、酒田本部より大渕会長、母校より土井先生をお迎えし、女性会員三名を含む十九名の会員が出席され、終始アットホームな雰囲気の中で行われた。今年度は役員改選の年の為、会則に従い、新会長に山代克彦さん（33回）、幹事に中山誠さん（35回）、信田淳さん（57回）、畠中智哉さん（平8卒）、会計担当に安達圭逸さん（46回）を選出、監事は、今田竹彦さん（34回）が留任となった。本会の目的は、母校・柔道部の活動を支援すると共に会員相互の親睦を図る事にありますが、土井先生より新卒のフレッシュマンを紹介して戴き、母校柔道部の活動報告をお聞きする度に、時間はウン十年前にタイムスリップし、時間の経つことも忘れて、辛かった稽古の事、あの鮮やかに決まった得意技の話に花が咲きました。今年度のフレッシュマンは、菅原佳奈さん、東京女子大

昭和二八年卒
酒田東・西高校
酒東二八会
会長　伊藤俊治
酒田市緑ケ丘二―九―三
☎〇二三四―三二―二〇六三

昭和二八年卒
酒田東・西高校
東京二八会
会長　金山義雄
事務局　松戸市小金原七―十一―二
五十嵐　昌士
☎〇四七―三四五―四〇八四

昭和二九年卒
酒田東・西高校
東京ふくの会
連絡先　本間英生
電話　〇三（三九八三）一七七八
（株）交通公社トラベランド
自宅　〇四八〇（三三）四〇三七

昭和三五年卒
酒田東高校
東京珊瑚の会
有志一同

第三六回卒
酒田東高校
山麓会
本宮正幸
首都圏支部
（有）アンド・フォトグラフィー
〒一〇四・〇〇六一
東京都中央区銀座一―十九―十三
丸美屋ビル
電話　〇三・三五六三・二八二八

昭和三九年卒
酒田東高校
酒東39会有志
連絡先　後藤吉修
〒183-0035
府中市四谷二―四九―二四
電話　〇四二三（六四）九五八六

昭和四六年卒
酒田東高校
酒東「巽会」
連絡先　丸藤　晋
電話　〇三―三四八六―〇八六五
FAX　〇三―三四八六―〇八八六

美しさで情報を伝えます！
コストダウンでサポート
汎用機・WS・PC・WPのデータを自在に編集・加工
オンデマンドシステムで対応
情報処理のビジュアル化をフルサポート
最短の時間と最小のコストをお約束
印刷の事なら
株式会社 文栄社
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-14-11
☎(03)3662-1951 FAX(03)3661-9735
http://www.bbe.ne.jp
E-mail:bunei@bbe.ne.jp

に入学されたとの事。オメデトウ。頑張って下さい。

「柔ちゃん」の活躍もめざましい柔道部

霞亀城会

佐藤　敏行（49回）

霞亀城会は、ＯＢを含む霞が関の官庁に勤務する酒田東校出身者が結成している会であり、北村総一氏(人事院ＯＢ、元㈱梓設計会長、霞亀城会名誉顧問)の発案で平成七年に結成された。懇親会を兼ねた第一回総会には名簿に名を連ねる者ほぼ全員が出席するなど、上々の滑り出しであった。

胎動を始めたばかりであり、会としての具体的な活動は、今後に待つところに大きいが、たとえば霞が関の官庁に就職を希望する後輩諸君や、また、庄内で活躍する後輩諸君に、中央官庁関連の情報を提供するなど、母校や故郷への恩返しになる活動を模索して参りたいと考えている。また、母校酒田東高の教職員の方々、酒田市役所等関係団体の方々と連携した活動なども模索したいと考えている。その際、東京亀城会など先輩たる他の亀城会からご助言等いただければ幸甚である。

東京亀城会ゴルフコンペ

当コンペも今年で十二回を迎え、四月八日木曜日町田市にある東京国際カントリー倶楽部で開催されました。

桜満開の晴天に恵まれましたが、あいにく寒冷前線がもどり、寒さと強風のなか、皆さんが善戦しました。

今回は、商業高校の斎藤常夫さんの参加もあり、大盛況でした。なお、上位の成績は次のとおりです。

○

□第十一回
（平成十年十月二二日、東京国際カントリー倶楽部）
優　勝・金湖東吉（二五回卒）
準優勝・鈴木藤男（二一回卒）
三　位・松本彦造（二八回卒）

○

□第十二回
優　勝・今野　誠（二五回卒）
準優勝・岡部長征（三一回卒）
三　位・熊谷正義（三七回卒）

○

◆当コンペは、年二回の開催を予定しております。皆さまの参加をお待ちしております。

案内は、電話かファックスで、本宮正幸（三六回卒）まで。

㊟　〇三・三五六三・二八二八
㊞　〇三・三五六三・二八二五

コンペに参加された方々で記念写真

佐々木特許事務所
弁理士　佐々木重光（昭和三二年卒業）
〒105-0003　港区西新橋一ノ七ノ一四　堀見ビル七階
電　話　〇三（三五八〇）八五一八
FAX　〇三（三五八〇）八五一九

桜井国際特許事務所
弁理士　櫻井俊彦（昭和三五年卒）
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台二―一一―一六　駿河台さいかち坂ビル三〇一
電　話　〇三（三二三三）三九七七
FAX　〇三（三二三三）三九二四

有限会社　文洋堂
代表取締役　齋藤俊（昭和三六年卒業）
港区新橋四―一六―九
電　話　〇三―三四三二―六五三一
FAX　〇三―三四三二―〇四四一

医療法人　ほんま内科胃腸科医院
理事長　本間清和（第四一回）
理　事　本間明子（第四一回）
監　事　本間順平（第十六回）
酒田市光ヶ丘二丁目―十九―十九
電　話　〇二三四―二三―〇七三八
FAX　〇二三四―二三―〇七三九

亀城人往来

三九回卒業の俳優・佐藤輝（本名、佐藤輝昭）さん

ＮＨＫ大河ドラマ『元禄繚乱』

大石内蔵助の忠僕・八助の役で出演中です。吉原や釣りのお供をしたり、餅を焼きながら主税の誕生を待つなどしていましたが、二五回『山科閑居』（六月二七日放送）で内蔵助と涙の別れをします。形見に絵を描いてもらうシーンの収録も無事終わりました。

新国立劇場『子午線の祀り』

演出・観世栄夫さんの「この役は絶対、佐藤輝で」との指名を受け二月に出演した木下順二作『子午線の祀り』。義経の配下「伊勢三郎の佐藤輝が好演」（毎日新聞）など主要各紙が絶賛しました。

『ラ・マンチャの男』公演

極め付きのサンチョ五年目。松本幸四郎主演のミュージカル『ラ・マンチャの男』が八月大阪・飛天、九月東京・青山劇場で公演されます。台本、音楽、構成と三拍子そろった自信作。深い感動とその余韻をじっくり堪能して下さい。松たか子の父娘共演も話題。更に深みのあるサンチョにしたいと今回もスペインを訪問し、稽古に余念がありません。

ほかに、**土曜ワイド劇場**、ゲスト出演し趣味の迷句を披露した五月の**ＮＨＫＢＳ『俳句王国』**、六月二四日の『**すずらん**』など多彩に出演。

また昨年東京をはじめ全国各地で上演し好評だったミュージカル『**34丁目の奇跡**』が、今年も十一月四日から十二月十二日まで、『文化庁移動芸術祭』として、東京・シアターアプルで公演されます。

蒼騎会展開催

酒田中学校第十三回卒業の洋画界の重鎮・佐藤昌佑氏が主宰する蒼騎会春季展は、今年で二六回を迎え、五月二四～二九日、銀座の洋協アートホールで開催された。また、第三九回を迎える秋季展は、例年通り、この秋に東京都美術展で開催される。

最新作を前にした佐藤画伯は益々お元気

内山敬司（昭和十四年卒業）
〒二三四－〇〇六六
横浜市都筑区佳田東四ノ二三ノ九
電話FAX ○四五－九四三－〇七二二

根上社会保険労務士事務所
社会保険労務士 根上茂三（昭和二四年卒業）
事務所 江東区東陽一－四－四一〇
〒一三六－〇〇〇五 電話 ○三－三六四八－○四三五

板橋区議会議員
自由民主党板橋支部総務会長
淑徳学園評議員
佐藤悦彦
自宅 板橋区成増四ノ二十八ノ五
電話 ○三－三九三〇－三三七一

オーディオ・ビデオシステム・電気機器・部品
アオト有限会社
一級電気工事施工管理士
青塚虎雄
東京都調布市染地三丁目一番一八〇
〒182-0023 TEL ○四二四（八八）三三七一
FAX ○四二四（八八）三三七五

セイコーアイ・インストルサービス株式会社
代表取締役社長 野口和雄（勤務先）
〒二七〇－二二二一 松戸市高塚新田五六三
電話 ○四七－三九一－二一九〇
自宅 〒二八五－〇八四五 佐倉市西志津二ノ九ノ一二
電話FAX ○四三－四七八－三七〇九

医療法人社団歯生会 真坂歯科医院
理事長 真坂信夫（昭和三三年卒業）
東京都世田谷区奥沢五丁目二六番九号
自由ヶ丘栄ビル3階（自由ヶ丘駅南口前）
電話 ○三－三七一八－四七〇〇
FAX ○三－三七一八－一〇九九

明徴出版有限会社
代表取締役 加藤茂藏（昭和十二年卒業）
〒九九八－〇〇四六
山形県酒田市一番町十二番六号
電話 ○二三四－二二－三二一八
自宅 〒九九九－八三三五
山形県飽海郡八幡町観音寺町四五
電話 ○二三四－六四－三四九七

インドネシア石油株式会社
専務取締役 長坂満
〒一五〇－〇〇一三
東京都渋谷区恵比寿四丁目一番十八号
（恵比寿ネオナート十八階）
電話 ○三－五四四八－二〇〇〇
（ダイヤルイン）

（有）たつみや
専務取締役 熱海壽美（昭和二八年卒業）
酒田市中町二丁目一－二七
☎○二三四－二四－八七六八

◎東京亀城会のご盛会を祈ります。
浄土宗浄徳寺住職
酒田市教育委員
長澤俊樹（昭和三五年卒業）
〒998 酒田市中央東四－六二
電話 ○二三四－二二－一七八八

医療法人・社団 徳信会
弥生台歯科医院
理事長 髙橋信人（昭和四二年卒業）
〒340-0816 横浜市泉区弥生台七二－四
電話 ○四五（八一二）四五八一

元木徹法律事務所
弁護士 元木徹（昭和四一年卒業）
〒105-0001 東京都中央区縄甲一－一〇－一五
銀座・山陽ビル五階
電話 ○三－三五四一－九四八一
FAX ○三－三五三五－三五四三

昨秋、今春叙勲相次ぐ

当会佐久間正会長（二二回卒）が、昨年秋に勲三等瑞宝章を受賞しました。平成六年の大病を乗り越えての受賞でした。

さらにこの春には、元衆議員で環境委員長の阿部昭吾氏が、勲一等瑞宝章を、東京工業大学名誉教授の越後谷悦郎氏（十六回卒）が勲三等旭日中綬章をそれぞれ受賞されました。

（越後谷氏、佐久間氏の受賞に関しては、同期会の記事をご覧下さい。）

今後もますますお元気でご活躍されることを、東京亀城会一同お祈り致します。

国会議員生活30年の阿部昭吾氏

酒田市長に阿部寿一氏が

この四月二五日に投票が行われた酒田市長選で、五三回卒の阿部寿一氏が当選し、若き市長の誕生となった。

阿部氏は、東大法学部卒業後建設省に入省。昨年十一月に大臣官房人事課長補佐で退職し、市長選には初挑戦。

ご多忙のところ、今後の抱負などを聞くことができましたので、ここに掲載します。

阿部寿一（39歳）
酒田市長

―東京亀城会においでになったことは？

役員会に出席させていただいたことがあります。また、松山会の本間充氏、後藤吉修氏ほかの諸先輩には、いろいろとお世話になっておりました。

―今後の方針は？

東京の様々な生の情報を聞かせていただき、市政に反映させたいと思っています。さらに、企業からの情報だけではなく、いろいろな方々からのきたんのない酒田市への要望も取り入れたいと思っています。

―具体的には？

諸先輩との情報交換を密にして、市への企業誘致、及び酒田の商品の販売拡大に積極的に取り組み、酒田の良さを外に広げたい。

メロン、米などの農産物は、品質的には全国的に十分通用するものでありながら、他の地域の名称で売られているものもあります。このように、アピール度が低いために損をしていることなどから、取り組んでいきたいと思っています。

（一九九九年五月二一日）

講演会のお知らせ

海上自衛隊の自衛艦隊司令部に所属していた久松武宏氏の講演会を、次のとおりに開催します。久松氏は三六回卒で、南極には九度おもむき、砕氷艦『しらせ』の艦長としてご活躍されてきました。

南極の状況や観測隊員の行動など、想像を越えた話題が展開されます。

□十一月二〇日土曜日二～三時

引き続き懇親会

□五反田ゆうぽうと六階紅梅

□定員・先着三〇〇名

参加ご希望の方には案内状を送りますので、次のところまでお申し込み下さい。

■本宮正幸（三六回卒）まで。

TEL ○三・三五六三・二八二八

FAX ○三・三五六三・二八二五

東京亀城会会報第十九号

○発　行　一九九九年六月十日
○発行者　佐久間　正
○編集人　岩谷純子
○編　集　高橋常昭
○広　告　本宮正幸
○発行所　東京亀城会
東京都中央区銀座一―二〇―十五
前田・山陽ビル五階
元木徹法律事務所内
○問合先　高橋企画・編集事務所
TEL FAX ○四二六・七五・八〇九七

電設資材・設備資材販売
北日本電線株式会社
代表取締役　菅原利明（昭和四四年卒業）
〒990 酒田市亀ヶ崎五―十三―九
電話 ○二三四（二四）五七一一
FAX ○二三四（二四）三四二四

遠藤登記測量総合事務所
所長　遠藤功（昭和四四年卒業）
〒一七〇・〇〇二一 立川市錦町二丁目一番五―三〇二号
電話 ○四二―五二九―一九三〇
FAX ○四二―五二九―一九四四

有限会社　丸藤晋建築設計室
代表取締役　丸藤晋（昭和四六年卒業）
顧問　北村總一（昭和十九年卒業）
渋谷区東一―二三―三 ハイツ一〇五
電話 ○三―三四八六―〇九九五

トム旅行
岡部均（昭和四四年卒業）
〒九九八・〇〇一三 酒田市錦町三―八―十五
電話 ○二三四―三一―〇一〇四
FAX ○二三四―三一―〇一〇四

ハクヨウ電気株式会社
中村穣（昭和四五年卒業）
〒九九八・〇〇三四 酒田市東久町一―八―十八
電話 ○二三四―二二―八六二三
FAX ○二三四―二二―八六二三

株式会社　菅原工務所
菅原靖（昭和四六年卒業）
〒九九八・〇〇五六 酒田市東栄町十一―四四
電話 ○二三四―二二―五四二二
FAX ○二三四―二二―七〇三四

東京亀城会会則・改定案

第一章　総則

（名称）

第一条　本会は、東京亀城会と称する。

（事務所）

第二条　本会は、事務所を東京都に置く。

（目的）

第三条　本会は、会員相互の親睦を図ると共に、いわゆる母校・酒田東高等学校及び亀城同窓会との連携を密にし、同校の発展に寄与することを目的とする。

（事業）

第四条　本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

一、総会、懇親会等の開催
二、母校との連携、後援
三、亀城同窓会及び各地の亀城会との連携
四、会員名簿の作成
五、会報の発行
六、講演会等各種行事の開催
七、その他本会の目的を達成するために必要な事業

第二章　会員

（会員）

第五条　①本会は、山形県立（旧制）酒田中学校、酒田第一高等学校、酒田高等学校若しくは酒田東高等学校に在学した者又は同校の教職員であった者で、関東地方一円に居住する者をもって会員とする。

②本会の会員は年会費を支払うものとする。

第三章　役員等

（種類）

第六条　①本会に、次の役員を置く。

一、会長　一名
二、副会長　五名以内
三、理事　各卒業年次二名以内
四、会務執行理事　若干名
五、監事　二名

②本会に、顧問、相談役等の役職を設けることができる。

（選任）

第七条　①会長、副会長及び監事は、会員の中から、理事会の推薦により、総会において選任する。

②理事は、各卒業年次の会員が行う推薦により、会長が委嘱する。

③会務執行理事は、理事の中から会長が委嘱する。

④顧問は、理事会及び総会の推薦により、会長経験者をもって充てる。

⑤相談役は、理事会及び総会の推薦により、副会長経験者又は本会に功労のあった会員を持って充てる。

（職務）

第八条　①会長は、本会を代表し、会務を総理する。

②副会長は、会長を補佐し、会長に事故等があるときは、会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

③理事は、理事会を構成し、この会則に定める事項を審議する。

④会務執行理事は、会務執行理事会を構成し、この会則に定める事項を執行する。

⑤監事は、会計を監査するほか、理事会及び会務執行理事会に出席して、意見を述べることができる。

⑥顧問及び相談役は、会務に関し、会長の諮問に応ずる。

（任期）

第九条　役員の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。

第四章　会議

（種類）

第十条　本会の会議は、総会、理事会及び会務執行理事会とする。

（総会）

第十一条　①総会は、会員をもって構成し、毎年一回開催し、会長が招集する。

②次の事項は、総会において議決する。

一、会長、副会長及び監事の選出
二、事業計画及び予算
三、事業報告及び決算
四、年会費の額の決定及び改訂
五、その他本会の運営に関する重要な事項

③総会の議事は、出席者の過半数をもって議決する。

（理事会）

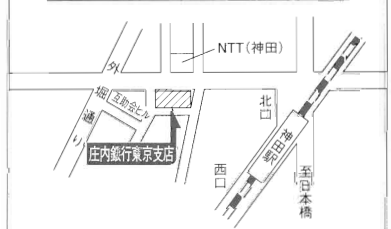
第十二条　①理事会は、会長、副会長及び理事をもって構成し、毎年一回以上開催し、会長が招集する。
②理事会は、次の事項を審議し、決定する。
一、総会に付議すべき事項
二、本会の重要な会務の執行に関する事項
③理事会の議事は出席者の過半数をもって決定する。
（会務執行理事会）
第十三条　①会務執行理事会は、会長、副会長及び会務執行理事をもって構成し、必要の都度、会長が招集する。
②会務執行理事会は、次の事項を策定し、会務執行理事は、共同して又は分担して執行する。
一、総会又は理事会に付議すべき事項の立案
二、総会又は理事会の議決した事項の具体的執行方針
三、その他本会の会務の具体的執行方針
③会務執行理事会は、会務の執行のため、委員会を設けることができる。
（経費）
第十四条　本会の経費は、年会費、広告費、寄付金その他の収入をもって充てる。
（会計年度）
第十五条　本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年の三月三十一日に終る。
（暫定予算）
第十六条　当該年度の予算が成立していないときは、会長は、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出する事ができる。
第五章　会則の変更
（会則の変更）
第十七条　この会則は、理事会の議を経て、総会において出席者の過半数の議決をもって変更することができる。
第六章　事務局
（事務局）
第十八条　①本会に、その事務を処理するため、事務局を置く。
②事務局は、当分の間、会務執行理事およびその他の会員をもって構成する。
（帳簿等）
第十九条　事務局には、会則、会員及び役員名簿、会計帳簿、会務記録等の帳簿及び書類を備えるものとする。
第七章　補則
（会則に定めなき事項）
第二十条　この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要なものは、理事会において決定する。

附　則（昭和四三年七月一一日施行）
附　則（昭和五〇年・五二年・五九年・六一年改正）
附　則（平成八年十一月一日改正）

改正後の会則は、改正の議決の日から施行する。

（この改正案は、平成十一年七月の総会で議決された段階で施行されます）

成長しています、ゼロエミッションの種。
EBARA　株式会社荏原製作所

ふるさとの銀行


つなぎます、人・夢・情報。
SHOGIN　荘内銀行 東京支店

郷土料理
おばこ
大内　瞳
（酒田市出身）
中央区銀座一―四―一〇（大内ビル）
☎〇三―三五六一―六四六六

平成十一年度 東京亀城会「総会・懇親会」開催のご案内

本年度の総会・懇親会を次のとおりに開催致します。「元気だが？」を挨拶に、懐かしい恩師、友人、同窓と語り合いましょう。

また、今年度は着席形式で、総会と懇親会の間には、『ラ・マンチャの男』のサンチョ役で大活躍の俳優・佐藤輝さんのミニトークショーを行います。

記

◎日時　七月十日（土）午後十二時半より

◎会場　五反田ゆうぽうと（簡易保険ホール）重陽の間
品川区西五反田八―四―十三
☎〇三―三四九〇―五一一一

◎年会費　二〇〇〇円

◎懇親会費　八〇〇〇円
＊但し第一～二一回卒、六一～七二回卒、女子会員は六〇〇〇円。今春卒は無料

◎交通　ＪＲ五反田駅西口より徒歩五分、東急池上線大崎広小路駅前

◎お招きした恩師
工藤辰也先生
高橋　靖先生

東京亀城会会長　佐久間　正
総会実行委員長　根上茂三（二四回卒）

サンチョ役の佐藤輝さんのお話は、「見果てぬ夢役者人生」

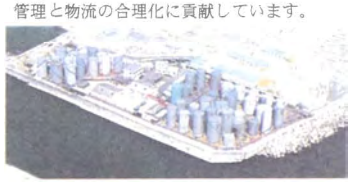
庄内米
おいしいお米の代名詞
「はえぬき」&「どまんなか」

小さな夢も、大きな夢も。
JA庄内経済連
〒998 酒田市山居町二丁目3番8号
米穀部☎0234(26)5371～5375
東京事務所
〒101 東京都千代田区内神田三丁目5-5 大同ビル
☎(03)3254-1456

地上の繁栄は、
地下で支える

コンクリート製品メーカー
前田製管株式会社
暮らしの中に、マエダがいます
●本社
山形県酒田市上本町6-7　〒998-8611
Tel.0234-23-5111　Fax.0234-24-7002
●東京統括支店
東京都江東区東陽3-23-21　〒135-0016
Tel.03-3649-7021　Fax.03-3649-7681

PUBLIC
TANK TERMINAL
ISO9002認証登録・高品質なサービス・豊富な経験と知識の提供で液体貨物の高度な保管管理と物流の合理化に貢献しています。



かけがえのない自然環境に
配慮した確かな安全性
GATX
日本ガテックス株式会社
本　　社　東京都千代田区鍛冶町1-5-7(江原ビル)
電話（03）3254-9571　〒101-0044
神戸事業所　神戸市長田区南駒栄町1-43
電話（078）611-5934　〒653-0044
横浜事業所　横浜市鶴見区安善町2-3-2
電話（045）502-8041　〒230-0035
川崎事業所　川崎市川崎区千鳥町2-2
電話（044）277-7411　〒210-0865

EPSON
時と情報を核に、
快適生活を支援する

東北エプソン株式会社
〒998-0194　山形県酒田市十里塚166-3
TEL(0234)31-3131